

通信管路補修工の作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打ち合わせ(KY活動) 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 作業位置の確認、交通規制の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 安全打ち合わせ書に基づきチェック、確認を行う。 作業分担、配置の確認を行う。
試掘工	<ul style="list-style-type: none"> ハンマードリルにて縦断方向5m間隔に深さ5cm迄掘り下げ管路の有無を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護メガネの着用。 台車の歯止めの設置。 ハンマードリルを使用する時は、管路に影響を与えない為に垂直に使用せず斜め方向に作業を行う。
切削機搬入	<ul style="list-style-type: none"> 切削機をトレーラーより降ろす。 	<ul style="list-style-type: none"> 誘導員の指示に従い転倒しないよう慎重に降ろす。 作業半径内への立入禁止。
切削工	<ul style="list-style-type: none"> 切削機にてW250 T40 を切削する。 切削殻をスコップで集め4Tダンプに積み込む。 エアーを使用し切削面の砂ほこりを取り除く。 	<ul style="list-style-type: none"> 有資格者による作業を行う。 作業半径内への立入禁止。 殻積み込み時、一般車走行車線側へ落とさない。
乳剤散布・防水シート設置	<ul style="list-style-type: none"> 乳剤散布機により切削面に均一に散布する。 防水シート(巾200)をコンクリートと舗装縁切り部に設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳剤が飛散しないように風向きに充分注意し必要に応じてコンパネ等で覆う。
合材舗設・転圧	<ul style="list-style-type: none"> 搬入した合材を舗設する。 振動ローラーで転圧を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 合材温度が高温の為やけどに注意。 作業半径内への立入禁止。
養生・清掃・解放	<ul style="list-style-type: none"> 養生中は、施工範囲内への立入禁止。 施工範囲以外の路面清掃を行う。 解放温度に達したら路面を解放する。 	<ul style="list-style-type: none"> 安易に施工範囲内に道具、工具を置かない。 清掃作業は、規制車線以外に散乱しないように注意し行う。 解放温度40℃厳守。
切削機排出	<ul style="list-style-type: none"> 切削機をトレーラーに積み込む。 	<ul style="list-style-type: none"> 誘導員の指示に従い転倒しないよう慎重に積み込む。 作業半径内への立入禁止。

作業編成(標準)	機材	資材	安全器具・保護具	
			ヘルメット	
			反射(自発光)チョッキ	
			警笛	
			粉塵マスク	
			保護メガネ	
			耳栓	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

1. 切削機、移動式クレーン等の作業半径内の立入禁止。
2. 合材舗設作業時、火傷に注意。
3. 現場内の整理整頓。
4. 休憩は、防護柵の外で行う。
5. 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
6. **一人作業の禁止**